

2025年度 神鋼商事株式会社 SDGs委員会 年間報告書

SDGs委員会一同



目次

- SDGs活動の目的
- 神鋼商事SDGs 改訂版
- 2025年度 活動報告
- 2026年度 取組項目
- SDGs委員会 所感

SDGs活動の目的

事業の発展と従業員満足度（ES）の向上を目的として、今年度もSDGs委員会を中心に各種取り組みを進めてまいりました。

2025年には、当社独自の「神鋼商事SDGs」宣言の改定を実施いたしました。

SDGsの達成目標である2030年を見据え、内容をより実効性のあるものへとブラッシュアップし、今後の取り組みを一層加速させてまいります。

また、CO₂排出量削減の取り組みとして、工場照明を水銀灯からLEDへ更新いたしました。

これにより省エネルギー化が進んだだけでなく、照度が向上したことで現場の作業環境改善にも寄与しております。

来年度（2026年度）には環境配慮型の新社屋も竣工予定です。

当社の事業の発展

ES（従業員満足度）向上

社会課題の解決に貢献

パートナー企業との協力体制の構築

地域や若い世代に対する啓蒙

神鋼商事SDGs 改訂版

神鋼商事SDGs 改訂版①

3 すべての人に
健康と福祉を



3 すべての人に健康と福祉を

- 従業員の健康を従業員の健康を資産と考え、年一回の健康診断とインフルエンザ予防接種や健康増進イベントを実施します。

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに

- 環境負荷の低減に向け、高効率発電（ごみ処理施設で発電された電力）や、太陽光、雨水などの再生可能エネルギーの有効活用を目指します。

8 働きがいも
経済成長も



8 働きがいも 経済成長も

- 働きやすい職場づくりと必要とされる企業で有り続けるため、ビジョン実現型人事評価制度を取り入れ、生産性向上、経済成長を図ります。

11 住み続けられる
まちづくりを



11 住み続けられる
まちづくりを

- 神奈川県で発生した金属スクラップは県内の電炉メーカーを中心に循環させ、資源のリサイクルを促進します。

神鋼商事SDGs 改訂版②

12 つくる責任
つかう責任



12 つくる責任 つかう責任

- コンプライアンスに基づいたスクラップの回収、選別、加工をおこない、良質な原料を安定供給することで循環型社会に貢献します。

13 気候変動に
具体的な対策を



13 気候変動に具体的な対策を

- 2030年までにCO2排出量の30%削減を目指します（2020年度比）。また、BCP（事業継続計画）を実行し、災害に強い会社を目指します。

14 海の豊かさを
守ろう



14 海の豊かさを守ろう

- 鉄スクラップを利用した漁業用おもりを提供することで、豊かな海を創出します。（鉄が海中で錆びて消滅していく過程で海藻を生成し、プランクトンが集まり、魚が集まる。エネルギーを使わずに自然循環を可能にし、豊かな海が形成されます。）

17 パートナリシップで
目標を達成しよう



17 パートナリシップで目標
を達成しよう

- 神鋼商事株式会社が関わる団体・組合等でSDGsの活動を推進し、パートナリシップを構築するとともに、社会貢献の拡大を図ります。

2025年度 活動報告



目標3 すべての人に健康と福祉を

あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を推進する

神鋼商事SDGs

従業員の健康を従業員の健康を資産と考え、年一回の健康診断とインフルエンザ予防接種や健康増進イベントを実施します。

取組内容

取組項目	取組内容
従業員全員の健康診断の実施	従業員の健康をサポート
インフルエンザ予防接種の実施	従業員の健康をサポート
運動イベントの実施	従業員の運動機会の増進
従業員の怪我予防	毎日朝礼でストレッチ体操
ペットボトルキャップの寄付を 通じたワクチンの提供	公社) 平塚法人会に寄付



目標7 エネルギーをみんなに、そしてクリーンに

手ごろで信頼でき、持続可能かつ近代的なエネルギーへのアクセスを確保する

神鋼商事SDGs

環境負荷の低減に向け、高効率発電（ごみ処理施設で発電された電力）や、太陽光、雨水などの再生可能エネルギーの有効活用を目指します。

取組内容

取組項目	取組内容
工場照明のLED化	工場の水銀灯30基をLED照明に変更
高効率発電の利用	『家庭から出るごみを焼却する際に発生した熱を高効率発電に利用し、発生したクリーンな電気を地域にもどす「地産地消」の推進』 をしている近隣企業と連携し、環境負荷の低減に貢献
環境配慮型新社屋の建設	SHINKOH CIRCLE（シンコウサークル）というコンセプトを掲げ、 「材料の循環」「エネルギーの循環」「健康増進×情報発信型オフィス」を体現する新社屋を建設 ※2026年7月竣工予定

8 働きがいも 経済成長も



目標 8 働きがいも経済成長も

すべての人々のための包括的かつ持続可能な経済成長、
雇用およびディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしいごと）を推進する

神鋼商事SDGs

働きやすい職場づくりと必要とされる企業で有り続けるため、ビジョン実現型人事評価制度を取り入れ、生産性向上、経済成長を図ります。

取組内容

取組項目	取組内容
ビジョン実現型人事評価 制度の運用、実施	公平な人事評価を通じた 働きやすい職場環境の提供
健康経営優良法人2026 (中小規模法人部門) 取得	従業員の健康保持・増進に向けた取り組み
新ユニフォームの導入	働きやすさ、性別に関係ない雇用の促進



目標11 住み続けられるまちづくりを

都市を包括的、安全、レジリエントかつ持続可能にする

神鋼商事SDGs

神奈川県で発生した金属スクラップは県内の電炉メーカーを中心に循環させ、資源のリサイクルを促進します。

取組内容

取組項目	取組内容
地域清掃	近隣（河川敷）清掃の実施
金属の安定仕入れ 需要家への供給	営業活動の実施



目標12 つくる責任つかう責任

持続可能な消費と生産のパターンを確保する

神鋼商事SDGs

コンプライアンスに基づいたスクラップの回収、選別、加工をおこない、良質な原料を安定供給することで循環型社会に貢献します。

取組内容

取組項目	取組内容
金属スクラップの再資源化	回収、選別、加工
コンプライアンス強化	ダストの適正処理について 勉強会の実施



目標13 気候変動に具体的な対策を

気候変動とその影響に立ち向かうため、緊急対策を取る

神鋼商事SDGs

2030年までにCO2排出量の30%削減を目指します（2020年度比）。
また、BCP（事業継続計画）を実行し、災害に強い会社を目指します。

取組内容

取組項目	取組内容
カーボンニュートラルに向けた CO2排出量削減目標の策定	目標設定に向けた現状把握
CO2排出量の可視化	CO2月間排出量の測定、周知



目標14 海の豊かさを守ろう

海洋と海洋資源を保全し、持続可能な形で利用する

神鋼商事SDGs

鉄スクラップを利用した漁業用おもりを提供することで、豊かな海を創出します。（鉄が海中で錆びて消滅していく過程で海藻を生成し、プランクトンが集まり、魚が集まる。エネルギーを使わずに自然循環を可能にし、豊かな海が形成されます。）

取組内容

取組項目	取組内容
ビーチクリーン活動	湘南地域の海岸清掃に参加し 海洋環境保全に努める
鉄筋おもりの製造販売	鉄筋を加工した製品を販売し 海洋環境の保全に貢献する



目標17 パートナーシップで目標を達成しよう

持続可能な開発に向けてグローバル・パートナーシップを活性化する

神鋼商事SDGs

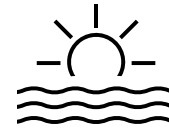
神鋼商事株式会社が関わる団体・組合等でSDGsの活動を推進し、パートナーシップを構築するとともに、社会貢献の拡大を図ります。

取組内容

取組項目	取組内容
ペットボトル、 古紙などの再資源化	再資源化を行うSDGs パートナー企業に提供する
かながわSDGsパートナー継続取得	活動報告、パートナーミーティング参加

7月 ビーチクリーン活動参加風景

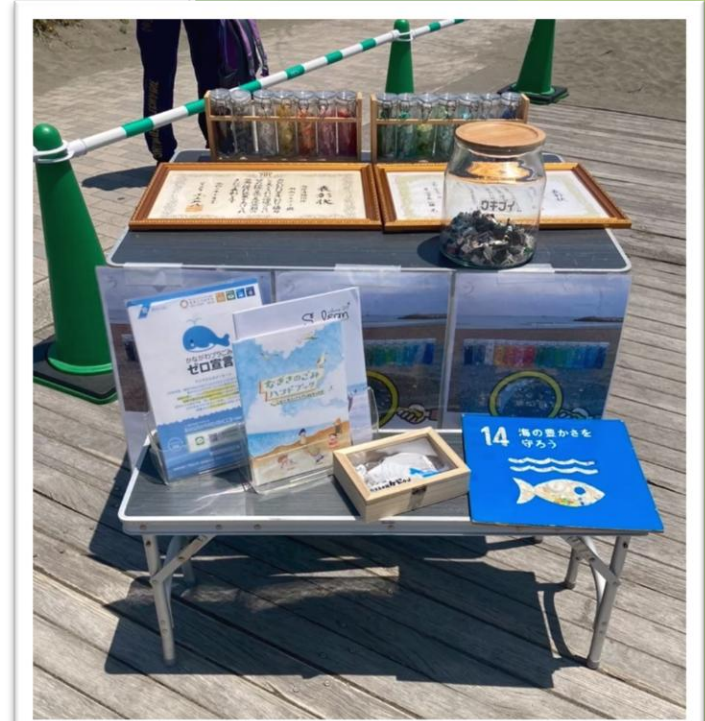
2025年度も湘南地域のビーチクリーン活動に参加いたしました。



当社は『海岸清掃団体湘南ウキブイ（以下ウキブイ）』が主催する茅ヶ崎ヘッドランド海岸の清掃活動に定期的に参加しています。

地域の団体や住民の方とパートナーシップを築き、清掃活動を通じて、SDGs達成に貢献することを目的としています。

ウキブイは「未来の子供達に、安全で美しい海、裸足で走り回れる砂浜を残してあげたい」というコンセプトのもと、海岸清掃活動をスタイリッシュかつ、カッコ良く、面白おかしく行うことをスローガンに掲げ、毎月第2日曜日に清掃活動を行っており、今までに246回（2026年6月現在）開催されています。ご興味のある方はウキブイのHP（<https://www.ukibui.com/>）から参加申込が可能ですので、ぜひご覧ください。



9月 ペットボトルキャップの寄付①

2025年度も公益社団法人平塚法人会を通じペットボトルキャップを寄付致しました。

当社は2023年より寄付を行っており、今年で3回目の取組みとなります。廃棄されてしまうことが多いペットボトルキャップも、分別し協力団体に寄付する事でワクチンとして生まれ変わり、世界の子供たちに届ける事ができます。

(次ページ：公益社団法人平塚法人会チラシ参照)

この活動は、熱中症対策として従業員の水分補給を推奨する中で、ペットボトル飲料の消費が増加したことをきっかけに始まりました。ボトル本体のリサイクルに加え、キャップ部分も分別・回収することで、より広い視点でSDGsに貢献できるのではないかと考えたのが発端です。

今年度は、従業員が業務中に使用したペットボトルに加え、家庭から持ち寄ったキャップも回収対象とし、回収量の増加を図りました。職場と家庭の両方から協力を得ることで、活動の輪が広がり、より多くのキャップを寄付することができました。

■活動の成果

総量：12kg 個数：約6,000個（ワクチン約10人分）
寄付日：2025年9月8日(月)



9月 ペットボトルキャップの寄付②

平塚法人会はペットボトルキャップの回収をしています！！

みんなでペットボトルキャップを集めて、 世界の子どもたちにワクチンを届けよう！！

世界で1日に約4000人の子供が命を落としていて、約3人に1人が「ワクチンがあれば予防できた「死」だ」と言われています。
平塚法人会では、回収したペットボトルキャップを下記提供先に持ち込み、樹脂メーカーに売却した際の収益の一部を寄付金にあてられ、JVC（世界の子どもにワクチンを委員会）を通じて、「ポリオ」や「はしか」などの予防接種率が低い発展途上国のワクチン寄付に役立てられます。
ただ捨てていただけのペットボトルキャップが約600個で1人分のワクチンとなり、世界の子どもたちの命を救うことにつながります！！

小さな協力が世界の子どもたちを救います！



約600個

1人分



提供先

ベストレーディング株式会社



寄付先

JVC(世界の子どもにワクチンを委員会)



法人会にお持ち頂るか、ご連絡を頂ければ取りに伺います！



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS



公益社団法人平塚法人会
〒254-0807 平塚市代官町11-38

TEL

0463-21-2891

FAX

0463-24-0785

E-mail

office@hiratuka-hojinkai.or.jp

画像引用：平塚法人会

出典：<https://www.hiratuka-hojinkai.or.jp/>

11月 工場照明のLED化

『2030年までに、取扱量1tあたりのCO2排出量を2020年度比30%削減する。』という目標の達成に向け、工場棟の照明30基を水銀灯からLEDに変更いたしました。

LED照明への切り替えにより、年間で約5tのCO₂排出量削減が見込まれており、環境負荷低減に向けた重要な施策となっています。

加えて、LED化は作業環境の改善にも大きく寄与しています。
特に冬季は日没が早く、従来は作業内容に応じて明るい場所へ移動する必要がありました。LED照明の導入後は工場全体の照度が向上したことで、移動の手間が減り、作業効率の向上を実感しています。また、視認性の向上は安全面にも効果をもたらしています。荷下ろし作業等における視界が確保されることで、従業員およびお客様に関わる事故・怪我の防止につながっていると感じております。

項目	更新前（水銀灯） 2024.11 月～2025.10 月	更新後（LED） 2025.11 月～2026.10 月 （予測値）	削減量（予測値）
年間消費電力量	15,601 kWh/年	4,547 kWh/年	11,054 kWh/年
CO2排出量	6.7 tCO2/年	2.0 tCO2/年	4.8 tCO2/年

11月 家族参加型イベントの開催①

SDGs委員会にて企画・検討し、健康増進、地域貢献、そして従業員およびその家族とのコミュニケーション促進を目的として、①「ウォーキングを兼ねた河川敷清掃活動」と②「社内BBQ 懇親会」を実施しました。

①当社周辺（平塚市大神近郊、相模川河川敷）の遊歩道を約1時間ウォーキングしながら、周辺に落ちているごみの回収を行いました。45Lゴミ袋×2袋分のごみを回収し、地域の環境美化に一定の貢献ができました。



11月 家族参加型イベントの開催②

②清掃活動終了後、社内駐車場にてBBQ懇親会を開催し、従業員と家族が交流を深めました。

社長が子どもたちを新社屋に案内する場面もあり、世代を超えた交流が生まれるなど、終始和やかな雰囲気でも盛り上がりしました。



11月 インフルエンザ予防接種

当社では感染症予防に関する取り組みに注力しています。

数年前に社内で感染症が流行し、業務が滞る事態になったことをきっかけに、感染症対策に注力しております。業務上従業員同士の距離も近く、感染症が広がりやすい環境にあるため、手洗いうがい等の徹底に加え、予防接種の積極的な活用を促しています。

特に毎年流行しやすいインフルエンザは、予防接種の費用を会社が負担し、接種時間も、業務時間内、かつ受付時間を長めにとることで、業務中でも周りに気を遣わず、希望者全員が接種できる体制を整えています。

今年度も希望者の接種率は100%で、日ごろから手洗いうがい等の徹底もあり、2025年度にインフルエンザに罹患した従業員は0名でした。



3月 健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）を取得いたしました

当社は、従業員の健康を大切にし、働きやすい環境づくりに積極的に取り組んでいます。これらの活動が評価され、前年度に引き続き2026年度『健康経営優良法人』として認定されました。

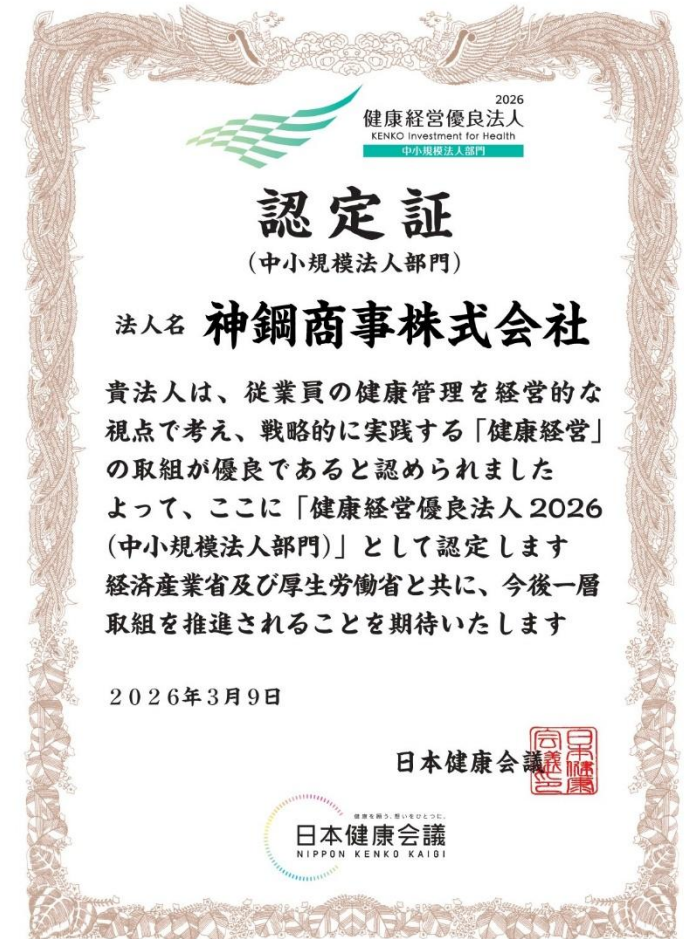
健康経営優良法人2026（中小規模法人部門）認定証



健康経営の取組みは、従業員一人ひとりが心身ともに健康であることが企業の成長にもつながるという考えのもと、働きやすい環境の整備、健康プログラムの充実、職場のメンタルヘルス対策など、多岐にわたります。当社はこれらの施策を通じて、従業員の満足度（ES）の向上にも力を入れています。



今後も、健康支援施策の充実や働き方改革を推進し、生産性や企業価値の向上による持続可能な経営の実現に努めてまいります。



2026年度 取組項目

2026年度 SDGs委員会 取組項目（予定）

【通年目標】 紙の分別

- 新聞紙、段ボールに加え、事務所のコピー用紙も分別し、リサイクルに努めます。

【通年目標】 ノー残業デーの設定

- 従業員の働きやすさ向上に向け、ノー残業デーを設定します。

【6月】 敷地の緑化

- みどり豊かな社会の創出に寄与するため敷地面積の10%を緑化します。

【8月】 環境配慮型新社屋の竣工

- 企業理念でもある「環境と人への配慮」を体現する新社屋が竣工します。

【8月】 ペットボトルキャップの寄付

- ペットボトルの分別と同時に、キャップの寄付を通じてワクチンの寄付を行います。

SDGs委員会

神鋼商事SDGsとして発信

2026年度 SDGs委員会 取組項目（予定）

【9月】 健康診断の実施

- 従業員の健康サポートのため、全員に健康診断を実施します。

【10月】 海岸清掃の参加

- 地域の海岸清掃活動に参加し、海の環境保全に努めます。

【11月】 運動イベントの開催

- 従業員と家族を対象にしたイベントを開催し、健康増進とコミュニケーションの促進を図ります。

【11月】 インフルエンザ予防接種

- 感染症対策としてインフルエンザの予防接種を行います。

【3月】 健康経営優良法人2027の取得

- 従業員の健康を第一に考え、働きやすさにコミットします。

SDGs委員会

神鋼商事SDGsとして発信

SDGs委員会 所感

2025年度の活動においては、働きやすさの向上と社内環境の改善を目的に、工場内のLED化および契約電力会社の変更を実施し、CO2排出量の削減に大きく貢献することができました。また、清掃活動やファミリーイベントの開催、各種SDGs関連制度の継続取得にも取り組みました。今後も、従業員とそのご家族が楽しく自然に活動へ参加できる会社を目指し、継続的に活動を進めてまいります。

2025年度のSDGs委員会活動の中で、社内イベントの河川敷清掃&BBQが印象に残りました。参加してくれた社員やその家族の方々が楽しそうにしてくれたのが印象的です。

他にもペットボトルキャップの寄付、LED化、新ユニフォーム導入等の目標も達成できてよかったと思います。

2026年度も目標達成に向けコツコツ活動を続けていきたいと思っています。

健康増進の取り組みとして、朝礼後の体操を継続できたことに感謝申し上げます。また、相模川河川敷でのごみ拾い活動とBBQイベントも大いに盛り上がり、今後も継続して開催したいと考えております。さらに、ペットボトルキャップの回収も定着し、安定した数量を寄付することができたと感じております。2026年度は、2030年のゴールに向けて、社員全員が参加できるSDGs活動を検討してまいります。

2025年は、2026年度の新社屋竣工に向けた準備を本格的に進めた一年でもありました。環境と人に配慮した新社屋の実現に向け、今年度は現場用ユニフォームの刷新にも取り組みました。従業員アンケートの結果を反映し、従来よりも汚れが目立ちにくく、動きやすさに優れ、スタイリッシュで、性別を問わず誰もが自信を持って働けるデザインへと生まれ変わりました。

新社屋の完成とあわせて、来年度のSDGs委員会報告書で本取り組みをご紹介できることを、今から楽しみにしています。